

	実践名(実践年度)	令和6年度	スイッチを使って水をかけよう
参加する授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。) * 合わせた指導の場合は、関連する教科名に✓を入れる。	☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数/数学 ☐ 理科 ☐ 生活 ☐ 音楽 ☐ 図画工作/美術 ☐ 家庭/技術・家庭 ☐ 体育/保健体育 ☐ 道徳 ☐ 外国語/外国語活動 ☐ 総合的な学習(探究)の時間 ☐ 情報 ☐ その他の教科() ☐ 特別活動 ☒ 自立活動 ☐ 各教科等を合わせた指導() ☐ その他() 記入例: ☒ ←該当する項目	
	単元・題材名(時数配当)	植物を育てよう	自立活動 小学部生活
	単元の目標	【知識及び技能】 身の回りの生命や自然について関心をもつことができる。 【思考・判断・表現力】 身の回りにおける生命や自然に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 自然に関心をもち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりすることができる。	
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	☒ 「知識・技能」 ☐ 「思考・判断・表現」 ☐ 「主体的に学習に取り組む態度」 ☒ その他(スイッチを押すなどを行うと水が出ることを体験し、因果関係に気づくことができる。)	
	自立活動の要素	☐ 健康の保持 ☐ 心理的な安定 ☐ 人間関係の形成 ☐ 環境の把握 ☒ 身体の動き ☐ コミュニケーション	
	情報活用能力との関連	因果関係の理解	
学習(集団)の実態	学部・学年 教育課程・学習グループ	☐ 幼稚部 ☐ 小学部 ☐ 中学部 ☐ 高等部 ☒ 特定されない ☐ Ⅰ課程 ☐ Ⅱ課程 ☒ Ⅲ課程 ()	
	対象の障害	☐ 視覚障害 ☐ 聴覚障害 ☐ 知的障害 ☒ 肢体不自由 ☐ 病弱・身体虚弱 ☐ 言語障害 ☐ 自閉症 ☐ 情緒障害 ☐ LD(学習障害) ☐ ADHD(注意欠陥/多動性障害) ☐ その他	
子どもの実態	子どもの課題 (特性・ニーズ)	☐ 聞く ☐ 読む ☐ 見る ☐ 話す ☐ 書く ☐ 運動と姿勢 ☐ 計算する ☐ 推論する ☒ 日常生活活動 ☐ 社会性・コミュニケーション ☐ 不注意 ☐ 多動性・衝動性 ☐ 覚える・理解する ☐ 時間的・空間的・人的交流の制約 ☐ その他 自発的な動きが乏しいが、動くところを生かした学習を行いたい	
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称 (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	使用機器: MaBeee、単1電池で動く電動灯油ポンプを取り付けたジョウロ、棒スイッチ、iPad、iPadタッチャー 使用アプリ: MaBeee、たっち&びーぶ、顔スイッチ	
	活用のねらい (概要)	A コミュニケーション支援(☐ A1意思伝達支援 ☐ A2遠隔コミュニケーション支援) B 活動支援(☐ B1情報入手支援 ☒ B2機器操作支援 ☐ B3時間支援) C 学習支援(☐ C1教科学習支援 ☒ C2認知発達支援 ☐ C3社会生活支援) スイッチを使って植物に水かけをおこなう活動を通して、植物を育てるという教科の目標やスイッチを押すと水が出るという因果関係の理解、スイッチを押すという動きを引き出すことをねらいとしている。	
	活用方法 (学習活動の構成) *ICT機器活用場面は下線で示す	MaBeeeを電池アタッチメント単一乾電池の大きさにして電動灯油ポンプにセット。水の入ったじょうろに置いて用意する。児童生徒の実態に合わせて「MaBeee」のアプリで操作。スイッチならiPadタッチャーをつないでスイッチ操作、もしくは「たっち&びーぶ」や「顔スイッチ」といったアプリを使って操作する。	
効果・評価	ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価 (単元の目標を踏まえた評価)	【知識・技能】 植物に水をかけて育てることを知ることができた。 【思考・判断・表現】 スイッチを押すと水が出るという因果関係に気づくことができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 押すという動きを引き出すことができた。	
資料	図・写真・表等 (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)	    たっち&びーぶ  顔スイッチ	
キーワード (※実践者名を含めて10個以内)		肢体不自由、植物の生長、水かけ、因果関係の理解、自発的な動き、iPad、MaBeee、たっち&びーぶ、顔スイッチ	